

車検で使用する整備モード(排ガス検査、トラクションコントロール解除)対応状況一覧(国産乗用車/2025年8月25日現在)

- 車検での排ガス検査、スピードメーター検査で使用する整備モードの対応状況と移行手順は下表の通りです。
- OEM車は供給元のカーメーカーの対応方法を行ってください。
- 車両側でスキャンツールによる整備モード起動方法が設定されている車両へのHDM-10000での対応状況は下表の通りです。

「整備モード」＝アイドリングストップ解除、トラクションコントロール解除などの総称として表記しています。

「○」＝設定あり 「－」＝設定なし

車両	車両側での整備モードへの移行方法		HDM-10000 での整備モードへの対応状況		備考
	手動での移行	スキャンツールでの移行	HDM-10000 対応状況	内容	
トヨタ	○	○ (ハイブリッド車のみ)	○ (ハイブリッド車のみ)	●HDM-10000メニュー内の特殊機能の「メンテナンスモード」⇒「HV整備モード」⇒「整備モード」の順で操作を行ってください。 ●操作方法は右のリンクをクリックして、ご参照ください。	トヨタ/ハイブリッド車の車検を行う際の作業サポート「整備モード」の活用
日産	○	○ (ハイブリッド車のみ)	○ (ハイブリッド車のみ)	●HDM-10000メニュー内の特殊機能の「メンテナンスモード」⇒「HV整備モード」⇒「整備モード要求」の順で操作を行ってください。 ●操作方法は右のリンクをクリックして、ご参照ください。	日産e-POWER車、パラレルハイブリッド車の車検を行う際のアクティブテスト「整備モード要求」の活用
ホンダ	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は整備解説書に記載のVSAメンテナンスモードへの移行を行うか、VSA OFFスイッチの長押しを行ってください。 ●ハイブリッド車の排ガス検査では整備解説書に記載のメンテナンスモードに移行させてください。	
マツダ	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は車室内のTCS(DSC)OFFスイッチを押してください。詳細は整備解説書を参照ください。	
三菱	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は車室内のASC OFFスイッチを押してください。詳細は整備解説書を参照ください。	
スズキ	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は車室内のESP® OFFスイッチを押してください。詳細は整備解説書を参照ください。	
スバル	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は車室内のプリクラッシュブレーキOFFスイッチを長押し、または、インフォメーションディスプレイでOFF設定を行ってください。詳細は整備解説書を参照ください。	
ダイハツ	○	－	－	●車両側にスキャンツールによる「整備モード」の設定が無いため、診断ソフト側に該当機能はございません。 ●スピードメーター検査時は車室内のVSC OFFスイッチを長押しをしてください。詳細は整備解説書を参照ください。	